

～Web とは何か？のレベルから始めた HTML&CSS の勉強～

室井 貴子

日頃からパソコンを使い様々な情報を得ていた私は、興味あるもの・好きなものを検索しこれまで知らなかったことを知る事が増えることに刺激を受けていました。

Web から別の Web に移ることができ、それらの表記はどうなっているのかと思い、ページソース表示をブラウザに出して見ると「なんでしょう！これは！」と沢山の解らない文章に頭の中が混乱したのを覚えています。

Web 制作では、ホームページ上に表示をしたい文章や・写真などの情報を、HTML（ハイパーテキストマークアップランゲージ）という言葉でコンピューターに文章構成を指示し、CSS（カスケードスタイルシート）にて装飾やレイアウトなどのデザインを加える仕組みになるそうです。

還暦間際の私でしたが、“とにかくトライあるのみ、毎日時間を決めてタグ名を覚えることから始めよう”とパソコンに向かう日々でした。一番苦労したのが“画像の表示”でした。Image タグを使っただけの絶対パス/相対パスが理解出来なかったのです。

表示方法について教えて頂いたのは HP を作成したことがあるという役員の方でした。まだ、勉強中ですが、ブラウザに画像が表示出来た時に「やっとできた！」とうれしかったのを今も覚えています。

若い世代の方々の情報取得先として Web が一番身近に利用されている現状から考えれば、情報発信の手段として、ホームページの活用は必須であると思います。

時間はかかるかもしれませんが、県支部ホームページの立ち上げに向け勉強を続けていきたいと思っています。

日本はハイコンテクストな社会

これは、世界障害者ランキング（自閉症と自閉症スペクトラム率の多い国）で、日本が1位となり、その結果説明の理由として挙げられていたことです。ランキング上位に先進国が多く名を連ねているのは、発展途上国では詳しい調査をされていないのが背景にあることと思われる。

ハイコンテクストとは、コミュニケーションの土台が一緒であるという意味で、長所は言わなくてもお互いに雰囲気や空気を読み合ってコミュニケーションが成立するという事です。つまり「空気を読む」必要があるからその場における雰囲気や状況を察し行動すること、また、場の雰囲気や状況を察するだけでなく、そのタイミングではどのような行動を取るのが良いかを考えて判断した結果対応もその意味に含みます。

ヨーロッパやアメリカに多いローコンテクスト社会は「対話を重視」になるそうです。

2005 年日本で発達障害者支援法が施行され、子どもに対しては乳児検診で早期発見・早期療育・早期支援がされています。

現在大人である方々は、上記の社会的ケアにたどりつかず医療や支援に結びついていないそうです。

日常の会話でも誤解は生まれます。それなのに「空気を読む」力も求められる。これは大変です。

何かとストレスを感じる社会です。“自分らしく生きる”為ストレス発散方法を見つけ過ごしていきたいものです。

【編集後記】本部補助事業の支部活性化事業を活用し、福島県重症心身障害児(者)を守る会発行のリーフレットができました。A4 サイズ両面に何を載せ“あ！”これはと手に取って頂くにはどうすれば良いか？を役員で検討し3月に完成しました。是非見かけましたらば、お手に取って見て頂きますよう、宜しくお願い致します。 【宝】

絆～きずな～

2023年5月28日 第20号

発行責任者：会長 牧野和江

福島県重症心身障害児(者)を守る会

いわき市江畑町小能田 40-2(富岡方) Tel:0246-63-3431

【5類移行】

新型コロナウイルス感染症の位置づけが、これまで、「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる2類相当）」とされてきましたが、5月8日から「5類感染症」になりました。

マスクの着用や手洗い等の手指衛生などの感染対策も個人や事業主の判断に委ねることとされました。

施設入所の方々においては、3年以上直接家族との面会が出来ない状況におかれていた方もいます。

在宅の方でデイサービスなどを利用されていた方は、家族が県外や地域外へ出かけた場合には、1週間以上施設利用が出来ない方もいました。

引き続き感染対策を取りながらにはなりますが、5類移行に伴い直接面会や地域の中に出かけて多くの方と接する機会が増えることを願うばかりです。

さくら

福島県重症心身障害児(者)を守る会
会長 牧野和江



うさぎ年の今年、開運スポットとして大注目?!の「吾妻小富士」のうさぎが姿を見せ始め、地元ではホワホワとまるで綿あめの様にピンクに染まった満開の桜が咲き誇るかよいなれた道。

今年もまた思わず車を止め、菜の花とのコラボレーションが美しすぎる「合戦場のしだれ桜」（二本松）に心を奪われてしまう。

ソヨソヨと春風に舞う桜いっぱいの中、娘に逢いに行くこの季節が一番好き。

桜は「明日もきっといい日になる…」と明るい予感をいだかせてくれるそんな不思議なパワーを感じます。

今回「守る会県支部」では、桜を表紙にリーフレットを作成しました。手にしていただいた方にあたたかな気持ちになってもらえたらうれしいです。

重度の障がいを持った我が子の未来に不安を持ち、何か救われる手段はないか…と、在宅で過ごしているご家族のもとにこのリーフレットが届くことを願っています。

施設で過ごす子どもたちの様子を見てもらい「入所も思っているほど悪いことばかりではない…」と、心配が少しでも軽減出来たら幸いです。

コロナ感染症も5類移行となり、「守る会」の活動も通常に戻りつつあります。

子どもたちの笑顔がずっと続くよう「守る会」では、一緒に活動してくれる仲間を募集しています。

同じ障がいを持つ家族同士が交流し、日々のいろいろな話をしてみませんか。

連絡をお待ちしています。



「県支部広報用リーフレットできました」 本部補助事業

守る会本部補助事業「支部活性化事業」の採択を受け取り組んでいたリーフレットが出来上がりました。在宅の会員から施設入所の実態が見えないから、将来施設入所を考えた時に不安になってしまうとの意見を受け、入所施設の生活の様子を中心に作成しました。

全国重症心身障害児(者)を守る会は、昭和39年6月に、児童福祉法からは「世の中の役に立たず、社会復帰もできぬ子に金をかける必要があるのか」との声が聞かれる世相の中で、「たとえどんなに重い障害があろうと、生命をもち、生きているのです。それなりに生き、育ち、伸びるこの子を生かして下さい」と訴えて発足し今日に至っています。

福島県支部は、平成10年(1998年)に重症心身障害児・障害者の入所施設である国立福島病院、国立翠ヶ丘病院(現いわき病院)、福島整肢療護園、そして在宅でケアしている親・きょうだいが、施設入所や在宅生活という立場の違いにかかわらず、一人ひとりが地域で豊かに暮らせる基盤づくりに向け結成されました。

もの言えぬ、そして自分で行動できぬ子どもたちに代わり、親、きょうだい、重症児者に関わりを持つ多くの方々の、これまでの活動から障がいがあってもそれぞれの地域の中で暮らすことができる制度は作られています。市町村によって利用できる制度にはまだまだ差があります。

制度の壁を一つでも取り除き、日本のどこで暮らしても同じ生活が送れるような世の中を目指し一緒に活動してみませんか。

https://www.normanet.ne.jp/~ww100092/

全国重症心身障害児(者)を守る会



どんなに重い障がいがあっても
みんな違ってみんないい



福島県重症心身障害児(者)を守る会
会長 牧野和江

【連絡先】
事務局長 雷岡靖(施設入所：いわき病院)
〒974-8201
いわき市江畑町小能田 40-2
急(AX兼用) 0246-63-3431
携 帯 090-8254-1601
e-mail tomioka12002@yahoo.co.jp
理事 三橋さゆり(在宅)
携 帯 090-5808-7785

☆お気軽にお問い合わせください☆

福島県重症心身障害児(者)を守る会

※入会のご案内

- ・正会員(ご家族の方、それに準ずる方)
年会費 12,000円(途中加入は月額)
- 内訳：全国 8,400円 県支部 3,600円
福島県会員数：約 140名(内在宅：5名)

※入所施設情報※

- 福島病院 定員164名 短期入所4床
- いわき病院 定員80名 短期入所4床
- 福島整肢療護園 定員60名 短期入所3床

※病棟行事・活動※

- ・コンサート(ゴスペル・管弦楽・ハンドベル等)
- ・バスハイクは車椅子移動可能な方を、小人数で近隣へ出かけます。(バスハイク参加困難な方は病室でのプラネタリウム上映等、別のお楽しみ会があります。)
- ・保育は午前中集団保育、体調不良にて出席困難な方はベットサイドにて、個別保育をしています。

※入所施設の一日の流れ※

6:00 起床・おむつ交換
朝食

8:00 水分補給・おむつ交換

10:00 療育活動・余暇

12:00 昼食(服薬)・余暇

14:00 水分補給・療育活動

16:00 おむつ交換・余暇

18:00 夕食(服薬)

水分補給・余暇

20:00 就寝

22:00 就寝

※一例です。
※入浴は おおわれ湯?同

今回リーフレットを作成するにあたり、一番先に考えたことは、情報を必要としている方に何を伝えたいかそして伝えるべきかという事でした。

在宅の会員の方から出された意見は、「まだ自分は若い、まだまだ在宅で子どもと一緒に暮らしたいけれど、いずれ年を取ったときに施設入所を考えなければいけないがどんな生活をしているのかを知るすべがない」とのことでした。子どもにとってよりよい人生の“道しるべ”を考えるのが保護者(後見人)です。

福島県守る会は案内人としてリーフレットを作成しました。

施設内の子どもたちの様子は言葉で表すより直接目で見て頂くことが一番理解できると思います。



重症心身障害児とは・・・

重度の肢体不自由と重度の知的障害が重複した状態を重症心身障害児といい、その状態にある子どもを重症心身障害児といいます。さらに成人した重症心身障害児を含めて重症心身障害児者と呼ぶことに定めています。

【大島の分類】

21	22	23	24	25	IQ
20	13	14	15	16	80
19	12	7	8	9	70
18	11	6	3	4	50
17	10	5	2	1	35
					20

走れる 歩ける 歩行障害 座れる 寝たきり

都立府中医療センター元院長 大島一良博士により考案された判定方法
1～4の範囲が重症心身障害児です。
☆5～9は定義に当てはまりにくいのですが
①絶えず医学的管理下に置くべきもの
②障害の状態が進行的と思われるもの
③合併症のあるものが多く、
周辺児と呼ばれています。

北浦雅子会長が令和5年2月16日(木)に、101歳で逝去されました。

会長は「社会の役に立たない子供達に、国のお金は使えない。」との厳しい環境の中、守る会を立ち上げ「最も弱い者をひとりも、もれなく守る」を理念に粘り強く活動を積み重ね、今日の制度を築きあげてきました。

印象に残っているのは、厚生省のワーキング部会で「重症児施設は人権侵害で廃止すべきだ。」との意見が出された時は素早く反応し、「重症児施設は重症児の生命を守る最後の砦です。」との署名を短期間に12万筆集め、施設を守ることができたことです。

組織の力、数の力、の大切さを改めて知ることができました。

福島県との関係では、東日本大震災の時に会長から直々に電話があり「困っている事があれば、本部として全面的に支援する。」との励ましの言葉を頂き、心の支えとなりました。

巨星墜つ(きよせいおつ) ※1

本当に長い間、有難うございました。

心から御冥福を、お祈りいたします。

※1 大きな業績を残した偉大な人物が死んだことを、哀惜の念を込めていう表現。

S記

《北浦雅子会長プロフィール》

重度の知的障害と重度の肢体不自由を併せ持つ「重症心身障害児」への福祉を充実させるため、親の会を立ち上げ、長年会長として運動を牽引してきました。

1921年 誕生

1947年 次男が種痘後の脳炎後遺症で脳性小児まひに

1964年 「全国重症心身障害児(者)を守る会」結成

1969年 「重症心身障害児療育相談センター」開設

1978年 「守る会」の会長に就任

その後は内閣府の委員も務められていました。



※ 北浦会長の足跡につきましては、左記の本が刊行されています。

2017年9月8日刊行

「重い障害がい児に導かれて一重症児の母、北浦雅子の足跡」
(福田雅文著：中央法規出版)

に詳しく書かれています。

興味のある方は、是非お読みになってみてください。